

# 平戸の新星 第10回

## 風景や作品からの感動を 自らの手で表現したい



1\_山口さんが制作した入選作品 / 2\_デッサンの制作に熱中する山口さん / 3\_第68回子ども県展(立体部門)で特選を受賞した作品「僕の小手」

大島中学校の美術室で、美術部の新入部員たちにデッサンを教えているのは、3年生の山口聖七さん。  
美術室には、彫刻から絵画まで、山口さんがこれまでに制作した多くの入選作品があります。  
幼いころ、たくさんのアニメーション作品を見る中で、美しい絵に心を惹かれ、「自

分もこんな美しい絵を描いてみたい」と思い、絵を描き始めたそうです。  
中学生になってからは、  
○第67回子ども県展  
▼絵画部門 入選  
▼デザイン部門 入選  
○第68回子ども県展  
▼立体部門 特選  
▼絵画部門 入選  
など幅広く入選し、各部門で高い評価を受けています。  
美術部と掛け持ちで剣道部にも所属する山口さんは、愛用の小手を制作した彫刻作品で、見事特選に輝きました。  
絵画制作の際は、遠近感を気にしたり、より自然な形に見えるよう気を付けていて、練習すればするほど上達することを実感しているそうです。  
美術のほかに、パソコンを操作したり、eスポーツや料理なども得意な山口さんの将来の夢は、企業のデータ管理などを担当するエンジニア。  
これからも、好きなものを探求し続け、センスを磨き続けていきます。



大島中学校  
3年  
山口 聖七さん  
(大島村)

アニメやゲームのほか、色々な画になる風景を見て回ることが趣味だそうです。

### 「これからも作品で思いを表現してほしい」

目をキラキラさせ、笑顔で部活動についての話をする姿を嬉しく思います。

作品を通して、自分の思いを表現することを、これからも続けてほしいです。

母 安香さん

## 大モノめがけて一直線

商工物産課物産振興班 ☎22-9141



ゴールデンウィーク期間中の5月3日～5日の3日間、「令和5年度平戸市春の産業まつり 平戸海道渡海人祭」が、平戸大橋公園特設会場で開催されました。

前年度まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、制限を余儀なくされていましたが、今回は通常開催となり、観光や家族連れなど、3日間で約1万人の来場者でにぎわいました。

会場では、市内事業者による特産品の販売のほか、新たに企画された各店舗の食材をその場で楽しむことができる「平戸“まるごと”バーベキュー」では、多くの人が平戸の特産品などを味わっていました。

また、毎年恒例のタコのつかみどりや、地引網体験から始まる魚のつかみどりなど大人気のイベントが開催され、たくさんの子どもたちが、大モノめがけて手を伸ばしていました。

### 人口の動き

( )は、前月との比較  
令和5年5月1日現在

■総人口	28,845人(-65人)	■平戸地区	16,580人(-39人)
■男性	13,713人(-35人)	北部地区	9,875人(-3人)
■女性	15,132人(-30人)	中部地区	3,207人(-10人)
■世帯数	13,724戸(+20戸)	南部地区	3,498人(-26人)
問 市民課戸籍住民班 ☎22-9123		■生月地区	4,687人(-20人)
		■田平地区	6,654人(-6人)
		■大島地区	924人(±0人)

### 交通事故件数

令和5年4月末現在

■件数	0件(9件)
■死者	0人(0人)
■負傷者	0人(14人)

※( )内は昨年同期

問 総務課危機管理班 ☎22-9101

### 火災救急件数

令和5年4月末現在

■火災	18件(18件)
■救急	524件(570件)

※( )内は昨年同期

問 消防本部予防課 ☎22-3167

P 2	目次・大モノめがけて一直線・人口の動き・交通事故件数・火災救急件数
P 3	平戸の新星
P 4~7	特集 食で育む健やかな心
P 8~11	特集 持続可能な社会の実現へ
P 12	叙勲および各種表彰者
P 13	新型コロナウイルス感染症の取扱変更
P14~15	不動産公示
P16	そうだ図書館へ行こう
P17	まちづくり協議会紹介・「古写真」から見る平戸の記憶遺産
P18	高齢者通いの場
P19	生活環境班コラム・国際交流員の日記
P 20~21	子育て・健康応援コーナー
P 22~26	見逃せない情報がココに(お知らせ)
P 27	暮らしに役立つ情報がここにも(お知らせ)
P 28~29	まちのできごと
P 30	うぶ声&おくやみ・TownTopic
P 31	ハッピーバースデー
P 32	カレンダー